

倉敷市保健所運営協議会議事録（概要）

日 時：令和7年11月20日 15:15～17:00

場 所：倉敷市保健所 3階 302会議室

出席者：委員16名（別紙）

傍聴者：0名 報道機関：0社

1 倉敷市保健所長挨拶

2 開 会

（1）委員自己紹介

（2）事務局職員紹介

3 議 事

（1）保健所業務の現状について（保健衛生年報）

保健所参事による概要説明

— 質 疑 —

委 員 最初の職員構成の配置についてですが、ここに歯科医師が1名もいないとありますが何か理由があるのでしょうか。

市 現状はおっしゃられる通り、歯科医師は1人も所属いたしておりません。以前、歯科医師の先生がいらっしゃったというのは伺っておりますが、お辞めになられた経緯とか、そういったところを私どもも把握いたしておりません。状況としてはご説明できるようなものは持ち合わせてございませんが、現状としては、いらっしゃらないというのは事実でございます。

委 員 歯科衛生士の方は2名いらっしゃって、歯科保健の業務を中心的に担っていただいているということですね。

市 さようでございます。

委 員 できれば歯科医師の雇用をお願いしたいと思います。

委 員 年々出生数が少なくなっているということですが、資料の16ページの体重別出生状況の記載で、2,500グラム未満のお子さんの数、いかがなんでしょうか。これは特に県とか国とかと同様の傾向なのか、或いは少し多いのかなど。低出生体重児の数に着目をされて、何か取り組みとかはしていますか。

市 低出生体重児は倉敷市でもいらっしゃいますが、一人ひとり低出生の方は、保健師の個別フォローをさせていただいております。医療が必要な場合は医療に繋がるようにご相談に乗らせていただいたりもしております。数について、多い少ないというのは特別何か対策をしているというのはございませんが、一人ひとり丁寧なフォローをしております。

委 員 29ページのところに、それぞれの乳幼児健診の検査結果のところが記載をされています。これは倉敷市だけということではないのかなと思いますが、例えば診査所見

のところで、その他の数がいつも多いなと思います。この、その他には例えばどのような内容が多いのか、もしあれば教えてください。

市 その他の所見についてどういった疾患があるか分析をしてみているんですけども、3歳児健診の場合、特に多いのが低身長や尿蛋白等の泌尿器系の異常。それから体重の増加不良や肥満の方もいらっしゃいます。1歳半の健診につきましては、一番多いのが低身長や泌尿器系の異常、体重増加不良というような結果が出ております。

委 員 組織図を見させていただいたんですけど、大災害時とかは組織はどういうふうになるのでしょうか。平成30年に経験されたと思いますが。

市 災害とか感染症とか、健康危機のときの対応ですが、普段は保健所は4課でそれぞれの業務をやっておりますが、例えば真備の災害の時には、それぞれの役割ごとに6つの班に分かれまして、その班それぞれに4課の職員がバラバラに入って、それぞれの専門職の特徴を生かしながら、業務に当たりました。コロナはもっとたくさんの細かい班に分かれて、業務の遂行を行いました。

(2) 精神障がいに関する正しい知識の普及と偏見の解消 (資料1)

保健所副参事兼保健課長による説明

一 質 疑 (保 健 課) 一

委 員 一般の方は、精神障がい者の知識があまりないように感じております。それというのも、家族の中でも精神障がい者と気づいていないということが多々ありまして、そういう方が作業所とかいرونなところに行きたいのに、自分はちゃんとできるんだ。自分は今もうきちっと自立してやっているんだ。という人が結構おられます。大変になってから会合に親子連れで来て、障がいのことで今困っているんですけども、どうしたらいいでしょうかっていう方が結構おられます。そういう方がおられるにもかかわらず、精神障がい者の会に入ろうとしない。やっぱり自分のところは精神的に参ってはいない。精神障がい者を持っていない。と思い込んでおられる家庭が結構おられるような気がします。また、それを公表するのを嫌がる人もおられて、だからそういう病院には行かれない。この間もそういう人がおられて、息子さんが東京のほうで借金をしてこっちへ帰られて、親御さんが弁護士さんをお願いして、それを解除してもらうように手続きをされているみたいなんですけど、大掛かりになってしまい、子供さんが借金やいろんなことで困っていることで、精神的に参ってしまって病気が発症したとか、そういう例もありました。それに周りの人たちが気付いてあげられるような社会にしていきたいなあと思っています。そうしないと、社会の中に溶け込めない、仕事は変わるばかりで借金がどんどん出来て、それで子供、親御さんが結局困るようなことになっていることが、大事になってから判明したってということもあるんです。一般の人が障がい者に対しての認識をもっと広めていただけるように、市の方にも協力をしていただいて、皆さんに障がい者を少なくするように持っていくような、啓発活動をしていただきたいと思います。そうしないと、どんどん社会は時とともに流れていきますけど、子供の方はどんどん病気が悪化して、もう親は手がつけられない状態に持っていくようなことが多々あります。そういうことにならないように、社会でもみんなが気付いて、ちょっと精神的にこの子おかしいな、疲労が募ってこうなっているんだろうかと感じられたら、すぐ精神科の病院とかへ行っていただくとか、いろんな声かけをしていただきたいと思います。そういうふうに、社会全体がみんなを、子供だけでなく親の方も、そういうふうな人を作らないようにやっていかないといけないんじゃないかなと思っています。

す。皆さんそういう面でも保健師さんに協力していただいて、いろんなパターンをいろいろ調べていただいて、そういう障がいのある人を増やさないようにしていただきたいんですけど、現実的には障がいのある人が結構いるんですけど、それが公表されてない、家族の中で隠しているっていうことが結構ありますので、早急に対応していただきたいなと思っております。

市 ピアサポートのこの活動の絡みで少しお話をするんですけども、こういった精神障がいの方がお話をする機会で、ピアサポート事業が始まる前なんですが、地域の親子クラブに出向いて、楽器を演奏しながら交流されたことが過去にありました。本当に何か、その集いの中で子どもたちって素直に入るんですよ。お母さんたちもそれを見て、精神障がいって怖いと思っていたけど、そんなことないんだね、と気づかされたというような場面がございました。このピアサポート事業も本当に若い年代の方に働きかけていくと、割と入りやすいんじゃないかなと手応えを感じておりますので、本当にこの場を借りて、もしそういった若い方が集まられる機会があれば、ぜひ活動の場ということで声をかけていただけたらと思います。

委員 倉敷市のピアサポート活動は、対象者が中学生とか大学生とかにも活動されていらっしゃるんですけど、この数がどんどん増えていったらいいなと思います。

(3) 不妊治療費助成・くらしき健康ポイント・歯周病検診について（資料2）

保健所副参事兼健康づくり課長による説明

— 質 疑 （ 健康づくり課 ） —

委員 先ほどの市民の反応のところ、平均歩数のグラフがありました。この平均歩数というのは、1日の平均の歩数ですか。

市 そうですね1日平均の歩数です。アプリの業者さんから、今月はこれぐらいの平均歩数でしたよっていうのを毎月報告をいただくようになっています。

委員 月によってばらつきがありますか。

市 はい。

委員 昨年との比較はできませんか。

市 このアプリは今年の1月から開始しておりまして、前の古いバージョンの時はシステムが少し古かったので、あまりこういう分析が出来ませんでした。今の業者さんはこのような細かい分析をしていただけるので、以降はずっと継続的に観察させていただきたいと思っております。

委員 夏の暑い時期は歩数が下がるんだろうと思いますので、年間でこれから比較ができたらいいなと思います。

委員 不妊治療費助成事業の自由診療とは具体的にどういったものですか。

市 自由診療というのは、保険診療では使う薬の規定が相当厳しいらしく、それではない薬が使われたりですとか、保険診療で決められている回数よりプラスして診療が入ると、

その費用全体が自由診療になったりすると聞いております。

委員 そういうところを診査して、ということですか。

市 治療について規定が細かくありますので、産科医療機関にご説明させていただいていきます。

委員 民間療法みたいなものは。

市 ご存じの通り、先進医療というのは将来保険適用にすることを前提にデータ集めている時期です。ですからある程度将来的に保険適用になるだろうという見通しがあるんですけども、自由診療というのはまだ全く分からない。それが民間療法かどうか分かりませんが、一応産婦人科の先生がされている治療なので、保険適用の見込みのないものを自由診療にというふうに位置付けて補助しております。

委員 じゃあ一応診査というか、余りにも変だと外されますよね。

市 婦人科の先生がされていることです。

委員 こちらの年齢は43歳までということですね。

市 そうです。

(4) 食中毒発生・収容犬猫の状況について(資料3)

生活衛生課長による説明

— 質 疑 (生活衛生課) —

委員 季節によって今もよくニュースで言われるキノコによる食中毒ですが、本来ならば夏から秋にかけてキノコが出てきますが、今年の夏が余りにも暑過ぎて、今ごろ夏のキノコが秋のキノコと一緒に生え、毒キノコも生えてきているというような状況だと今日もテレビで言っていました。AIで写真撮っても、同じ毒キノコが椎茸と出るので、今それによる食中毒がすごく発生しているそうです。この数日間で私も、公園にすごくキノコが群生をしているから何とかしてくれっていう、住民の方からご相談を受けた件がありました。それを公園管理の方に言うと、公園管理はキノコは取ってくれたんですけど、結局その胞子によってまた生えてくるんですね。どういうご相談だったかっていうと、やはりお散歩中に間違っって犬が食べてしまう。子供が触ってしまう。その触った手で目や口に入ってしまう。キノコを食べるわけではないんだけど、ちょっと危険なんじゃないのかっていうことです。他県では公衆衛生課の方で「キノコが生えても口に入れないようにしてください。7割以上が猛毒キノコです」みたいなものが、ホームページに書かれて周知徹底していたりとかしているんで、この最近の異常気象で夏に本来は生えなければいけないものが今生えてきているという状況になってきているので、できればこういう食中毒の発生状況っていうので調べられているので、そういうのも市民の方にホームページ等で合わせて案内していただけるといいなと思ったので、この場を借りてちょっとご提案させていただきました。

市 おっしゃられる通り、その毒キノコもそうなんですけれども、ユリ等の似たような植物の毒を食べて亡くなられる方や体調不良のある方が全国的に結構な数を発生してい

ますので、そこの辺りの周知徹底につきましては、もちろんホームページにも載せて、県のホームページのリンクも貼っているような状況ですけれども、市の方でも今一度出来ることを周知していくように検討していきます。

委員 AIを使ってという新たな課題なのかなというふうに思いますので、その周知のときにはそういうことも具体的に載せていただけるといいなと感じました。

(5) 食中毒検査について（本市で発生した最近の食中毒事案から）（資料4）

衛生検査課長による説明

— 質 疑 （ 衛生検査課 ） —

委員 これは倉敷市でたまたま、たまたま4件出たということだったんですけれども、岡山県も取り立ててっていうことは聞いてないですか。

委員 こちらに來させていただく前に衛生課に聞いたんですが、県が所管しているところでは近年出ていないということだったので、倉敷市さんの方でたまたまだったんだろうという考えでした。

市 これは全国的に事案は発生しているんですが、先ほどのヒラメのクドア・セブテンブクタータは平成23年に原因物質として指定したとお話させていただきましたが、それまではちょっとこの存在がわかっておらず、平成20年ぐらいに、どうも原因不明の食中毒が起こっている。特に瀬戸内海沿岸でそれが多いいんじゃないかと言われていて、実は平成20年に倉敷市が事務局となって、瀬戸内海沿岸の自治体を集めて情報収集をして、同じような事例がないかというのを取りまとめて、これは何かありそうなのが入しずつわかってきてそれを最終的には厚労省の方へ渡して、最終的に指定に繋がったという経緯があります。全国的にはあるけれど、もしかするとちょっと瀬戸内海沿岸が多めなのかもしれません。

委員 症状としては嘔吐下痢一過性ということなので、小さい子供であっても同じような症状ということでしょうか。

市 そう思います。

4 閉 会

会議録の内容に相違ないことを確認し、ここに署名する。

倉敷市保健所運営協議会 会長

富田 早苗



倉敷市保健所運営協議会 副会長

黒木 一博

